

「小児先天性心疾患患者におけるトリプルワーマー（利尿薬、NSAIDs、RAS阻害薬）の有害性の評価」について

1. 研究（調査）の目的と概略

尿を出しやすくする薬（利尿薬）、痛みや炎症、発熱などを抑える薬（NSAIDs）、心臓や血圧の治療に使う薬（ACE阻害薬・ARB・ARNI：これらをまとめてRAS阻害薬と言います）の3剤併用は成人では「Triple Whammy（トリプルワーマー）」と呼ばれ、急性腎障害（Acute Kidney Injury：AKI）の危険因子として知られています。しかし、小児、特に先天性心疾患患者における安全性について十分な検討が行われていません。

本研究では、トリプルワーマー成立後のAKI発症頻度、発症までの期間、および関連する背景因子を明らかにし、小児先天性心疾患患者における薬物療法の安全性向上に役立てることを目的とします。

2. 研究（調査）の方法

2012年1月～2026年12月までの間に、岐阜県総合医療センターにおいて利尿薬、NSAIDs、RAS阻害薬の3剤を同時に処方された時期のある患者様に関してカルテから後方視的に情報を抽出します。年齢、性別、診断名、腎機能（血清クレアチニン値、eGFR）、使用薬剤（利尿薬、NSAIDs、RAS阻害薬、トリプルワーマー成立日、AKI発症の有無と発症日、入院歴などの診療情報などについて解析します。

3. 研究（調査）の参加施設

岐阜県総合医療センター

4. 調査期間

2012年1月から2026年12月

5. 調査の対象となる患者様

調査期間中に利尿薬、NSAIDs、RAS阻害薬の3剤を同時に処方された時期のある患者様、かつその後6カ月以上の観察期間がある患者様です。

6. この調査への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを用いる観察研究であり、新たな診療や検査を患者様にお願いするものではありません。研究結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報の保護に十分配慮します。データのご使用をお断りになる場合には直ちに情報の利用を停止いたしますので、遠慮なくお申し出ください。

7. お問い合わせ先

本研究は、岐阜県総合医療センターの倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得ています。お問い合わせは下記です。

岐阜県総合医療センター小児科 松隈英治 電話 058-246-1111